



大勢の方にお越しいただきました

三月十二日(火)、うちこ人権映画祭を開催しました。昼の部は内子中学校三年生と一般の方、夜の部は一般の方、あわせて百六十七名の方に鑑賞していただきました。

うちこ人権映画祭 「ペコロスの母に会いに行く」



うちこ福祉館だより

令和元年
5月発行
電話・FAX
44-3410

今回上映したのは「ペコロスの母に会いに行く」という作品で、認知症の母親とその息子が織りなす、笑いと涙にあふれた何気ない日常の触れ合いを綴った物語でした。

上映後は、「人それぞれの人生を大切にすることが人権だと思う」、「人に接する優しさなど、考えさせられた」、「良い映画だったが人権との結びつきがよく分からなかった」、「思いやりの気持ちを持たたい」など、率直な意見・感想をお寄せいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

うちこ福祉館では、今後も、人権映画祭ほか館事業を通して人権意識や福祉の向上を図って参ります。

テーマ

「糖尿病を知ろう」



糖尿病について学びました

三月十二日(火)、平成三十年度最後となる、第五回健康講座を開催しました。

内子町地域医療・健康増進センターの管理栄養士 河野洋子さんに、「糖尿病を知ろう」と題して講話をしていただき、糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害という三大合併症の危険があることや、予防・解消のために自分のできることを教えていただきました。

その後、調理実習を行い、タケノコ新玉ごはん、道明寺蒸し、かにかまシウマイ、ブロッコリー

の酢味噌和えなど、全6品を作りました。改めて、健康に過ごすために野菜を多く摂取し、バランスの良い食事が大切であることを学びました。



十九名全員でおいしくいただきました



担当するメニューを分担し手際よく調理



ねはん祭り 3月15日(金)

押花教室・生花教室 作品展示

今年も作品を展示させていただきました。

押花も生花も丁寧に作られています



大所帯です！プラチナコースの皆さん

元号が令和に替わる直前の平成三十一年四月五日と十一日、本年度の「健康体操 楽々フィットネス」の開講式を行いました。前年度の皆勤賞は、プラチナコースの松田保子さん、パールコースの福岡ニ久子さんが受賞されました。おめでとうございませう。この一年間、無理をしない範囲で体を動かしながら、楽しく健康づくりをしましょう。



パールコースの皆さん



ゴールドコースの皆さん

本年度は、ゴールド・プラチナコースは定員に達しました。パールコースのみ四月二十二日(月)の段階で、残り一名の空きがあります。参加希望の方はご連絡ください。

楽々フィットネス 開講しました

異動のご挨拶

四月の人事異動により、税務課に異動となりました。いろいろと皆様方にお世話になり、心より厚くお礼申し上げます。

七月豪雨では避難された方があり福祉館に泊り込みました。福祉館が地域に頼られる施設であることを認識しました。

また、福祉館まつりや講演会では、押花クラブをはじめ多くの方々にご協力を頂き盛大に開催でき、本当にありがとうございました。

うちこ福祉館での貴重な経験

四月十九日(金)、北条ふれあいセンターにおいて愛媛県隣保館連絡協議会の定期総会が開催されました。新任職員紹介では、樽古・宮田も自己紹介を行いました。

午後からは研修会に参加しました。「市民社会における人権の意味と役割」との演題で、桜井・法貴・グローバル教育研究所代表 桜井高志氏による講演を拝聴しました。

「気づかないうちに相手の嫌がることを言っていないか。」「自分は絶対にしない、という考えは危うい」「当たり前になっていないことを少し待ってみると、相手の様子が分かる」と話され、日常生活での自分自身の行動・言動によって、誰かを不快にさせているかもしれない、という意識を持つことの大切さを教えていただきました。

を、今後の仕事に活かしていきたいと思っています。

税務課主任専門員 西田富一

皆様、初めまして。この度、小田自治センターより異動して参りました。

一日も早く顔馴染みの職員となり、皆様のお力をお借りしながら、人権学習をはじめ様々な事業に取り組んで参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

うちこ福祉館係長 樽古政子

愛媛県隣保館連絡協議会 定期総会